
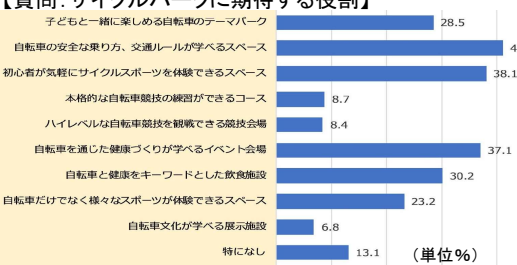



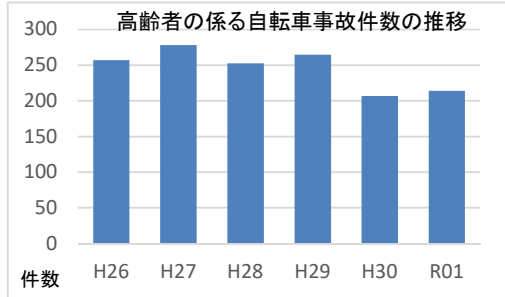
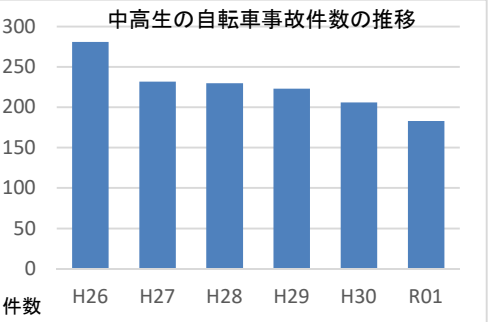
「さいたまは一と」に掲げる各施策の取組状況

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">たのしむ</p> <p style="text-align: center;">①自転車 レースイベ ントの開催</p>	<p>①-1 国際的サイクルレースの開催</p> <p>《事業概要》 スポーツの振興及びスポーツを活用し、地域の経済の活性化などを図ることを目的に、「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」を開催します。</p> <p>《活動指標》年1回の継続開催 《成果指標》来場者数10万人以上 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>● ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムの開催</p> <p>J.COM presents 2019ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催。令和元年度から実施主体が、さいたま市から一般社団法人さいたまスポーツコミッションに移行。</p> <p>○開催日 令和元年10月27日(日) ○来場者数 約10.6万人 ○開催内容 ・クリテリウムメインレース (海外招聘選手、国内選手によるレース) ・スプリントレース ・タイムトライアルレース ・コース及びイベント会場での一般参加体験イベント ・スポンサー企業及び自転車関連企業のPRブース ・賑わい創出ステージイベント ・パブリックビューイング ・海外選手との交流会</p>	<p>【所管:スポーツイベント課】 ・大会開催への支援を引き続き実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・本市の更なる負担軽減と継続的な開催の両立を図る必要がある。</p>
	<p>①-2 市民サイクルイベントの開催・支援</p> <p>《事業概要》 「自転車によるまちづくり」を市民に身近に感じてもらうことを目的に、市民参加型のサイクルイベントを開催・支援します。</p> <p>《活動指標》イベント開催・支援数5回/年以上 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>● サイクルフェスタの開催</p> <p>「さいたまはーと」に掲げる市の取組や、自転車の魅力を広く効果的に発信するとともに、さらなる自転車利用の促進、交通ルールの遵守・徹底、交通マナーの意識向上などを図ることを目的に、2019サイクルフェスタを開催。 今回は、従来からの子どもが楽しく自転車を体験するキッズロアに加え、e-bikeや高齢者向け3輪自転車等の試乗会を開催するなど、子どもから大人まで幅広く体験できる企画を実施。また、ステージイベントでは、BMXショー、大学生による自転車を活用した観光まちづくりコンテストのプレゼンテーションを実施。</p> <p>○開催日 令和元年10月26日(土)、27日(日) ○開催場所 さいたま新都心公園周辺 ○来場者数 約2.1万人 ○開催内容 ・ステージイベント、キッズロア、自転車試乗会など ・物販・飲食ブース(約56店舗)</p> <p>※12月開催予定であった「秋ヶ瀬の森バイクロア9」は、台風19号の影響により中止。 ※3月開催予定であった「第7回西来るフェスタ」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・「2020サイクルフェスタ」を開催する予定。</p> <p>【所管:スポーツ政策室】 ・イベントの誘致・広報支援。</p> <p>【所管:西区コミュニティ課】 ・「西来るフェスタ」を開催する予定。</p> <p>《課題・留意点》 【所管:自転車まちづくり推進課】 ・自転車の活用に係るテーマ及びターゲットを明確にした企画を立案する必要がある。 【所管:スポーツ政策室】 ・サイクリング推進のために、安全で快適な生活道路の整備等、サイクリング環境の整備の進捗状況に合わせていく必要がある。 【所管:西区コミュニティ課】 ・目的を持って会場に足を運んでもらえるよう、事業のテーマを明確にし、ターゲットを決めて計画を立てる必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>②サイクリングコースの環境整備</p>	<p>②-1 レクリエーションルートの整備</p> <p>《事業概要》 市内の豊かな自然や地域資源を活かして、サイクリングが楽しめるレクリエーションルートの設定を検討し、余暇のサイクリング環境の創出を図ります。</p> <p>《活動指標》令和2年度までに整備 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●サイクリング情報の展開</p> <p>緑のヘルシーロード(広域レクリエーションルート)において、限られたスペースの中で、サイクリング情報(サイクリングマップ、サイクルサポート施設)をお知らせするQRコードを掲示した案内板を2箇所設置。</p> 	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・サイクルサポート施設の認定やサイクリングマップの周知。</p> <p>《課題・留意点》 ・サイクルサポート施設の利用やサイクリングマップを効果的に活用するに当たって、官民で工夫する必要がある。 ・広域的な観点で、現在、国土交通省が施工している荒川築堤工事の完了後(R3年度以降)に、荒川サイクリングロードのルート案内板等の設置に向けて、関係機関と協議を行う必要がある。</p>
	<p>②-2 サイクリングマップの作成</p> <p>《事業概要》 サイクリングコースやサイクルサポート施設、観光施設の関連情報をまとめた、使いやすいマップの作成・配布を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までにマップを作成 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●緑区周辺サイクリングマップの作成</p> <p>緑のヘルシーロード、緑区周辺を対象にサイクリングマップを作成。</p> <p style="text-align: center;">別途、参考資料1参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンセプト 見沼の豊かな資源を自転車で自由に巡る ○ターゲット 見沼の歴史や自然に関心がある方、ファミリー層 	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・サイクルサポート施設の認定やサイクリングマップの周知。(再掲)</p> <p>《課題・留意点》 ・サイクルサポート施設の利用やサイクリングマップを効果的に活用するに当たって、官民で工夫する必要がある。(再掲)</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定																					
<p>たのしむ</p> <p>③自転車の まちの魅力 向上</p>	<p>③-1 自転車のまちの情報発信、 官民連携による企画検討</p> <p>《事業概要》 ホームページやSNS等を活用して、市の自転車 関連情報や市内自転車関連団体の活動等、“自 転車のまち さいたま”の情報発信を行います。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに情報発信サイトを開設</p> <p>《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●Facebookを活用した情報発信 さいたまはーとFacebookページを通じて、自転車施策等の情 報を発信。</p> <p>○コンテンツ 2019サイクルフェスタ 自転車マナーアップキャンペーン 自転車利用環境向上会議 サイクリングマップ 等</p> 	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・Facebookを活用した情報発信。 ・シェアサイクルのスマホアプリ上に自転車関連情報の ポップアップを表示するなど、新たな情報発信の仕組 みの検討。</p> <p>《課題・留意点》 ・FacebookのみならずTwitterやInstagramなど、その他 のSNSの活用も視野に入れ、より広域に広報活動を行 う必要がある。 ・民間企業のSNSアカウントと相互連携するなど、官民連 携による企画を検討する必要がある。</p>																					
	<p>③-2 サイクルパークの設置</p> <p>《事業概要》 自転車の楽しさを日常的に体験できる場として、 サイクルパークの設置や、既存施設を活用した自転 車に親しめる環境創出を検討します。</p> <p>《活動指標》平成31年度までに基本計画を策定</p> <p>《成果指標》自転車利用者増加に寄与</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●市民ニーズ等の調査実施 インターネットアンケートによるニーズ調査や民間事業者へのヒ アリングを実施するとともに、ソフト施策メニュー及び整備手法 等について検討を実施。</p> <p>○インターネットアンケートの概要 ・対象者 さいたま市及び埼玉県、東京都特別区住民 ・アンケートの主な項目 ①頻度、利用目的、所有車の種類、自転車のイメージ ②サイクルパークに期待する役割、自転車関連イベント ③サイクルスポーツ等の参加状況 等</p> <p>【質問：サイクルパークに期待する役割】</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>役割</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもと一緒に楽しめる自転車のテーマパーク</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>自転車の安全な乗り方、交通ルールが学べるスペース</td> <td>41.2</td> </tr> <tr> <td>初心者気軽にサイクリングを体験できるスペース</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>本格的な自転車競技の練習ができるコース</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>ハイレベルな自転車競技を観戦できる競技会場</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>自転車を通じた健康づくりが学べるイベント会場</td> <td>37.1</td> </tr> <tr> <td>自転車と健康をキーワードとした飲食施設</td> <td>30.2</td> </tr> <tr> <td>自転車だけでなく様々なスポーツが体験できるスペース</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>自転車文化が学べる展示施設</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>13.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位%)</p>	役割	割合 (%)	子どもと一緒に楽しめる自転車のテーマパーク	28.5	自転車の安全な乗り方、交通ルールが学べるスペース	41.2	初心者気軽にサイクリングを体験できるスペース	38.1	本格的な自転車競技の練習ができるコース	8.7	ハイレベルな自転車競技を観戦できる競技会場	8.4	自転車を通じた健康づくりが学べるイベント会場	37.1	自転車と健康をキーワードとした飲食施設	30.2	自転車だけでなく様々なスポーツが体験できるスペース	23.2	自転車文化が学べる展示施設	6.8	特になし	13.1
役割	割合 (%)																							
子どもと一緒に楽しめる自転車のテーマパーク	28.5																							
自転車の安全な乗り方、交通ルールが学べるスペース	41.2																							
初心者気軽にサイクリングを体験できるスペース	38.1																							
本格的な自転車競技の練習ができるコース	8.7																							
ハイレベルな自転車競技を観戦できる競技会場	8.4																							
自転車を通じた健康づくりが学べるイベント会場	37.1																							
自転車と健康をキーワードとした飲食施設	30.2																							
自転車だけでなく様々なスポーツが体験できるスペース	23.2																							
自転車文化が学べる展示施設	6.8																							
特になし	13.1																							

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>④コミュニティサイクル事業の推進</p>	<p>④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大</p> <p>《事業概要》 大宮駅周辺エリア約3km圏で実施しているコミュニティサイクルについて、自転車利用の多い鉄道駅周辺に、ポートを増設し、移動円滑化、周遊を促します。また貸出しの需要に対応するよう、運営の活性化を図ります。</p> <p>《活動指標》平成29年度までにエリア拡大を実施 《成果指標》利用回数 30万回／年以上 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●コミュニティサイクルの運営 大宮駅周辺エリア約3km圏にポート24箇所、普通自転車400台にて運営。</p> <p>○利用回数 140,567回 (H31.4～R2.3末の累計)</p> <p>●シェアサイクル普及事業実証実験 さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験において、シェアサイクルのポートを増設するとともに、移動データの収集やサイクルポートの利用状況の分析等を実施。</p> <p>○事業区域 さいたま市全域 ○利用回数 H30年11月 6,050回/月(開始当初) R2年 3月 34,286回/月</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">別途、資料2参照</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・コミュニティサイクルからシェアサイクルへの移行に向けた検討を実施。 ・シェアサイクルポートの高密度化。データを収集・分析し、本格導入に向けた検討の実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・コミュニティサイクルからシェアサイクルへ移行する場合、利用者への周知やシステムの切替をスムーズに実施する必要がある。 ・シェアサイクルを本格導入するに当たって、適切なポート配置の考え方、持続的な運営等を整理する必要がある。</p>
	<p>④-2 コミュニティサイクルの車両多様化</p> <p>《事業概要》 現在のコミュニティサイクルについては、多くの方に利用してもらえよう、小径(20インチ)の自転車を採用していますが、幅広い用途の要望もあることから、車両の多様化を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までに車両多様化の導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●レンタルサービスの実施 コミュニティサイクルの運営と併せて、大宮駅西口ポートに電動アシスト自転車(チャイルドシート無し)やクロスバイクのレンタルサービスを実施。また、自転車を収納できる自転車ロッカーの運営。</p> <p>○利用回数 ・クロスバイク 60回 ・電動アシスト自転車 36回 ・自転車ロッカー契約者数 5人(全ロッカー数10台)</p> <div style="text-align: center;">  <p>大宮駅西口ポート 自転車ロッカーB-box</p> <p>レンタル自転</p> </div> <p>(参考)スクーターによるシェアリング実証事業 本市の副都心の一つである美園地区を皮切りに、本市鉄道主要駅周辺を中心に展開することを目指し、自走化を見据えたスクーターによるシェアリング実証事業を開始。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・コミュニティサイクルをシェアサイクルに切り替えることで、電動アシスト付自転車によるシェアリングサービスを展開。</p> <p>《課題・留意点》 ・コミュニティサイクルからシェアサイクルへ移行する場合、現行のレンタルサービスの取扱いを整理する必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ることを目的として、事故率が高い学生や、死傷率が高い高齢者を中心に、交通安全教室を実施します。</p> <p>《活動指標》250回／年、2万人／年以上に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●交通安全教室の実施(一般)</p> <p>市の「交通教育指導員」による、出張形式の交通安全教室を開催。</p> <p>○開催回数及び参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児向け 24回、1,600人 ・小学生向け 158回、20,339人 ・高齢者向け 19回、2,071人 ・保護者向けなど 9回、308人 <p style="text-align: right;">合計 210回、24,318人 (3月末時点)</p> 	<p>【所管:市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会やシニアユニバーシティと連携し、高齢者向けの交通安全教室開催数を拡大。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年の高齢者の関わる自転車事故件数は平成30年と比較し、増加している。より一層の交通安全教室の開催や街頭啓発活動を実施する必要がある。 
	<p>①-2 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 市内の中学生、高校生を対象に、スタントマンによる模擬の交通事故を見学し、「恐れ」を体感することで、交通安全意識の向上を図る、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教育を実施します。</p> <p>《活動指標》3年間で全ての市立中・高等学校に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●交通安全教室の実施(中学生)</p> <p>市立中・高等学校におけるスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施。</p> <p>○実施学校数 18校(令和2年3月末時点)</p>	<p>【所管:健康教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立中・高等学校におけるスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を22校で実施。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生の自転車事故が、ゼロ件になるよう取組を継続して実施していく必要がある。 

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定						
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p style="text-align: center;">①交通安全教育の推進</p>	<p>①-3 子ども自転車運転免許制度</p> <p>《事業概要》 自転車を利用する小学生に対して、早い時期から自転車の安全な乗り方を身に付けさせ、交通安全に対する意識を高め、児童の将来にわたる長期的な交通事故防止に資することを目的とし、安全講習を開催し、子ども自転車運転免許を交付します。</p> <p>《活動指標》全ての市立小学校で、講習の開催</p> <p>《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●自転車運転免許証の交付</p> <p>市立小学校102校で(原則として小学4年生)に、安全講習の開催し、免許証の交付。(大宮東小、大宮西小は対象学年を3年生から4年生に移行するため、今年度は実施なし)全ての市立中・高等・中等教育学校で原則1年生を対象に安全講習の開催し、免許証(講習修了証)の交付。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">氏名</td> <td style="width: 50%;">交通安全</td> </tr> <tr> <td>学校名</td> <td>自転車運転免許証</td> </tr> <tr> <td>交付 平成 年 月 日</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">さいたま市教育委員会・〇〇警察署</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">自転車に乗る前に確認してね!</p> <p>ブ ブレーキはきちんと効きますか? タ タイヤの空気圧は適切ですか? ベ ベルはしっかり鳴りますか? サ サドルの高さは体に合っていますか? ハ ハンドルは固くつかいませんか? リ 反射材は確認していませんか? ラ ライトはつきますか? しっかりと確認しましょう!</p> <div style="text-align: right;">  </div> </div>	氏名	交通安全	学校名	自転車運転免許証	交付 平成 年 月 日		<p>【所管:健康教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立小学校を対象(原則として小学4年生)に、安全講習の開催。免許証の交付の取組を継続。 ・全ての市立中学校・高等・中等教育学校の1年生を対象に、安全講習の開催。免許証(講習修了証)の交付の取組を実施。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生、高校生の自転車事故が、ゼロ件になるよう取組を継続していく必要がある。 <div style="text-align: center;"> <p>小学生の自転車事故件数の推移</p>  </div>
氏名	交通安全								
学校名	自転車運転免許証								
交付 平成 年 月 日									
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p style="text-align: center;">②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-1 ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置</p> <p>《事業概要》 「自転車=車両」という意識が低いことから、意識改善・啓発のために、自転車通行環境などの整備と併せ、ルール・マナー啓発に資するサインを設置します。</p> <p>《活動指標》自転車通行環境帯の整備と併せたサイン設置</p> <p>《成果指標》ルール・マナーの改善、歩道走行台数3割減</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●自転車の傘さし運転禁止の周知</p> <p>自転車の傘さし運転禁止を周知するための看板の設置。</p> <p>○設置箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮区 2箇所 ・桜区 4箇所 <div style="text-align: center;">  </div>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間の整備実施箇所(生活道路等含む)において、交通管理者等と共に、サイン設置や路面標示などを検討。 <p>【所管:市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全利用の啓発に関する電柱巻看板を市内20箇所に設置。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイン及び周知看板を設置することによる効果を検証する必要がある。 						

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p style="text-align: center;">②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-2 自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進</p> <p>《事業概要》 自転車保険の必要性、加入方法等の情報提供により、周知・普及を図るほか、児童へのヘルメット着用徹底や、高齢者への着用促進を図ります。また、普段からの自転車点検、整備方法に関する情報提供を行います。</p> <p>《活動指標》交通安全教室等での周知 2万人/年以上</p> <p>《成果指標》自転車事故減少に寄与</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●自転車ルールブックの作成 埼玉県警の監修のもと、自転車の交通ルールや快適利用の知識を掲載した自転車ルールブックを作成。</p> <p>●子ども乗せ自転車を楽しむハンドブックの作成 子育て世代向けに、子ども乗せ自転車の乗り方のコツや注意点を分かりやすく、コンパクトにまとめたハンドブックを作成。</p> <p style="text-align: center;">別途、参考資料2、3参照</p> <p>●条例の周知 自転車損害保険等加入義務化等を定めた「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」のチラシ及びポスターを作成、配布するほか、市報やホームページに掲載。</p> <p>●自転車安全講習会等の実施 子育て世代を対象に、3人乗り電動アシスト付自転車のレンタル事業における自転車安全講習会等で、ヘルメットや保険の周知を実施。 カーフリーデー、大宮アルディージャサイクルパレード及び浦和レッズホームゲームへのブース出展等にて、自転車の安全利用や保険の周知を実施。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課・市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールブック及びハンドブックを活用して周知。 ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、正しい自転車利用の啓発を実施。 ・「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」について、より一層の広報活動を実施。 <p>【所管：市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、引き続き正しい自転車利用の啓発。「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」の周知を実施。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車損害保険の加入義務化を認知しているが、加入していないケースがあるため、保険への加入を促進する取組が必要。
	<p>②-3 自転車安全利用の人材育成</p> <p>《事業概要》 自転車の安全利用を推進・啓発するため、自転車安全利用の人材育成に取組み、利用者のルール遵守、マナーの向上を目指します。</p> <p>《活動指標》自転車利用模範推進員の任命200人/年以上</p> <p>《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与</p> <p>《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●自転車利用模範推進委員の任命 3人乗り自転車安全利用推進事業として、3人乗り電動アシスト自転車の貸出しに先立ち、自転車安全講習会を開催。また、講習を受けた者を自転車安全利用模範推進員に任命し、安全利用のPR及びアンケートを実施。</p> <p>○任命者数(令和元年度) 31人 ※令和元年度31人含めて、推進員は200人</p> <p>●職員向けの自転車安全講習会の開催 自転車シミュレーターを活用して、正しく安全な自転車の利用やルール・マナーを周知。また併せて「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」を周知。</p> <p>○実施日 令和2年1月16日(木) ○参加人数 64人</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、新たに「パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業」を実施。年間約200人をサポーターとして任命し、自転車安全講習会の受講やSNS等での自転車安全に関する情報発信等、自ら自転車安全利用の啓発活動を実施。サポーターには、3人乗り電動アシスト自転車の購入費の一部を補助。(限度額3万円) <p style="text-align: center;">別途、資料3参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員向けの自転車安全講習会を実施。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターとして、より一層自転車安全利用の自覚を高める取組を継続的に行う必要がある一方で、新規事業による効果を検証する必要がある。

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p style="text-align: center;">②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発</p> <p>《事業概要》 自転車利用者の交通マナーの向上と自転車に関する交通事故防止を図るために、「街頭啓発活動」を関係機関と連携し実施します。「広告媒体によるルールへの周知・啓発」を行うほか、「ドライバーへの安全啓発」を検討します。</p> <p>《活動指標》啓発活動の実施、1万3千人／年以上 《活動指標》啓発活動の実施、1万3千人／年以上 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●埼玉県警合同キャンペーンの実施 本年多発している自転車の死亡事故の絶無を目指し、埼玉県、埼玉県警察と合同で、交通事故防止運動にあわせ、自転車安全利用啓発キャンペーン「Beautiful Rideキャンペーン」を実施。</p> <p>○実施日 令和元年12月12日(木) ○場所 大宮区役所前</p>  <p>●自転車安全利用コミュニケーションワード等の周知 自転車安全利用コミュニケーションワード「Beautiful Ride」を使ったチラシ、サコッシュ、マフラータオルを作成。2019サイクルフェスタにおけるスタンプラリー等の企画を通じて周知。交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施。「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」のチラシ及びポスターを作成・配付したほか市報、ホームページへの掲載等様々な情報ツールを活用して幅広く周知。</p> 	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・自転車安全利用コミュニケーションワード「Beautiful Ride」を活用した自転車安全利用の周知啓発を実施。</p> <p>【所管：市民生活安全課・各区くらし応援室】 ・引き続き交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">はしる</p> <p>①自転車通行環境の整備</p>	<p>①-1 自転車ネットワーク整備路線の整備</p> <p>《事業概要》 平成26年4月に策定した、さいたま市自転車ネットワーク整備計画に基づき、自転車交通量の多い路線や、自転車関連事故の多い路線などで、安全で安心な自転車通行環境の整備を実施します。</p> <p>《活動指標》令和5年度までに、約200kmを整備 《成果指標》自転車通行環境改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●自転車レーンの整備 主に駅周辺の交通量が多い路線にて、自転車レーンの整備を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備延長 約32km (H26～R1累計 約125km) ○整備箇所 浦和高校通り、産業道路 等 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div> <p>●自転車ネットワーク計画の改定に向けた検討 自転車レーンの整備効果や自転車事故の動向を踏まえ、新たな自転車ネットワーク路線案の検討を実施。</p>	<p>【所管：道路環境課】 ・自転車利用者の多い駅周辺の路線や各駅を結ぶ路線の整備を実施し、広域的な自転車ネットワークの構築を推進。(整備予定：35km)</p> <p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・昨年度の検討結果を踏まえ、さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～の改定と併せて、「さいたま市自転車ネットワーク整備計画」の改定を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車レーンの整備を実施するに当たり、交通管理者と調整を図る必要がある。</p>
	<p>①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善</p> <p>《事業概要》 交差点などのクルマとの交錯危険性が高い箇所、歩行者との事故が多い箇所、幅員が狭く交通量が多い区間など、危険箇所の点検・改善を実施します。</p> <p>《活動指標》交差点等危険箇所の対策メニューの作成 《成果指標》自転車事故減少に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●効果検証に向けた体制の構築に向けた検討 埼玉県警から情報提供を受けて市内の事故多発地点を抽出し、自転車ネットワーク整備計画の改定素案に反映。自転車レーンの整備効果を検証する体制の枠組みを検討。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課・道路環境課】 ・ゾーン30などでの自転車レーンの整備による効果検証等の体制を構築し、効果測定を実施。 (国及び交通管理者等参画予定)</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車レーンの整備により、自転車のみならず、クルマの移動動向(速度の抑制効果等)を分析する必要がある。</p>


事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>②公共交通機関との連携</p>	<p>②-1 公共交通結節点の環境整備</p> <p>《事業概要》 サイクル&バスライドの検討や、バス事業者やコミュニティバスと連携し、駐輪場やコミュニティサイクルの利用促進策を検討します。他、輸送時の自転車分解・組立スペース等、公共交通との連携可能性の検討を進めます。</p> <p>《活動指標》令和元年度から交通事業者との連携を実施 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●バスとシェアサイクルの連携 シェアサイクル普及事業実証実験の取組として、バス停付近にシェアサイクルポートを設置し、バスとシェアサイクルの連携に関する有効性や課題の検証に関する環境を整備。</p> <p style="text-align: center;">別途、資料2参照</p> <p>●バス路線マップ等にサイクリング情報等を掲載 さいたま市バス路線マップへサイクリングロードを掲載。西区、北区コミュニティバスルートガイドへコミュニティサイクルポートを掲載。</p>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課・交通政策課】 ・バス停付近に設置したシェアサイクルポート及び周辺ポートの有効性や課題等の分析を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・分析を行うに当たり、新型コロナウイルスによる影響を見極める必要がある。</p>
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-1 サイクルサポート施設の認定・設置</p> <p>《事業概要》 自転車ネットワーク路線やレクリエーションルート沿道中心に、トイレや休憩所などの「サイクルサポート施設」の設置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに、市内全域のサポート施設の開設 《成果指標》市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●サイクルサポート施設の認定 サイクルサポート施設「さいクルステーション」を募集し、サイクリングロード近辺の民間施設を中心に7施設の認定を実施。</p> <p>○認定施設名 ・ローソンさいたま膝子店 ・栗原coffee(飲食店) ・文明堂「さいたまあおぞら工房」 ・セブンイレブンさいたま飯田新田店 ・セブンイレブン浦和別所沼通り店 ・セブンイレブンさいたま鹿手袋店 ・セブンイレブンさいたま田島1丁目店 (合計7店舗)</p> <p style="text-align: center;">提供者 栗原coffee</p> 	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・サイクルサポート施設の募集、認定を実施。 (目標:年間7施設(民間)の認定)</p> <p>《課題・留意点》 ・サイクルサポート施設の充実を図る一方で、今後の展開を検討する必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-2 電動アシスト付き自転車等の利用啓発</p> <p>《事業概要》 近距離での移動を車に頼りがちになってしまう世代に対し、電動アシスト付自転車等の高機能な自転車の利用啓発を推進し、自転車利用の促進を行います。</p> <p>《活動指標》電動アシスト自転車貸出し(200台/年)の実施 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>●3人乗り自転車安全利用の推進</p> <p>市内在住で、1歳以上6歳未満の子どもを2人以上養育するものに対し、自転車安全講習会の受講等を条件に、3人乗り電動アシスト自転車を1,000円/月で貸出する事業を実施。令和元年度は、31名を対象に自転車安全講習会を開催。</p> <p>○事業期間 平成27年度～令和元年度(5カ年) ○稼働台数 200台</p>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに「パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業」を創設し、年間約200名のサポーターを募集し、自転車安全講習会を開催。サポーターには、3人乗り電動アシスト付自転車購入費の一部を補助。 自転車協力店を募集し、自転車の安全利用の周知等を行うなど、市内の自転車店と連携を図る予定。 <p style="text-align: center;">別途、資料3参照</p> <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> サポーターとして、本事業の目的を踏まえた、継続性のある具体的なコンテンツを検討する必要がある。 当事業による効果を螺旋的に検証する必要がある。
	<p>③-3 自転車利用促進事業者認定制度の導入</p> <p>《事業概要》 環境問題や、健康増進の面から、自転車利用を推進している事業者に対し、事業者単位での取組が推進されるよう、認定制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>調査・検討中</p>	<p>調査・検討中</p> <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者の認識等を把握したうえで、認定制度の導入を検討する必要がある。

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-4 自転車利用優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 健康増進や環境負荷軽減として、市民の自転車利用促進・啓発のために、自転車をより多く利用した方を優遇する制度の導入や、健康マイレージ制度との連携などを検討します。</p> <p>《活動指標》検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>●「みその健幸マイレージ」の実施 無理のない運動習慣づくりを促すプログラムとして、歩行＋自転車の総活動量に応じてポイントを付与する「みその健幸マイレージ」を美園タウンマネジメント協会の事業として実施。特徴は、世帯での自転車保有率が大都市No.1という本市の特性を活かし、㈱タニタが開発した、歩数だけでなく「自転車」の活動量も計測できる活動量計またはスマートフォンアプリにより、活動量に応じて健幸ポイントを付与。※WAONポイント又は地域ポイント「たまぼん」の選択可。</p> <p>○令和元年度参加者数 ・347名(美園地区に在住・在勤)</p> 	<p>【所管：未来都市推進部】 ・公民＋学による美園タウンマネジメント協会の事業として平成28年度より継続して実施してきたが、ヘルスケア分野における情報の利活用を一層推進するため、事業のリニューアルも含めて検証を実施。</p>
	<p>③-5 新たな自転車車両の普及・研究</p> <p>《事業概要》 タンDEM自転車の公道での走行の検討や、環境負荷軽減に資する低炭素型パーソナルモビリティ「電動二輪モビリティ」などに関する研究開発を行います。</p> <p>《活動指標》検討結果を踏まえ、令和2年度から活用を実施 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>●産学官による研究の実施 「次世代自動車・スマートエネルギー特区」での重点事業「低炭素型パーソナルモビリティ普及」に向け、パーソナルモビリティ研究会を立ち上げ、その構成員である芝浦工業大学において、安全性の向上を目指した「ジャイロ制御による自転車転倒防止システム」の継続的な研究を実施。</p>  <p>(参考)スクーターによるシェアリング実証事業（再掲） 本市の副都心の一つである美園地区を皮切りに、本市鉄道主要駅周辺を中心に展開することを目指し、自走化を見据えたスクーターによるシェアリング実証事業を開始。</p>	<p>【所管：産業展開推進課】 ・自転車転倒防止システムの研究開発・普及支援を継続。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車の転倒防止システムの更なる小型化・軽量化に向けた研究開発を支援する必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやす さ)</p>	<p>①-1 駐輪場の適正配置の推進</p> <p>《事業概要》 鉄道駅への自転車通勤・通学者の利便向上のために、駐輪場の適正配置を推進します。主要駅周辺の駅へ向かう動線上への配置など、利用しやすい駐輪場の配置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度から適正配置計画の推進 《成果指標》放置自転車数 1割/年削減 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●駐輪場の拡張 大宮駅東口大門町自転車駐車場の1階に64台分の駐車区画の拡張を実施。3人乗り子乗せ自転車の一時利用区画として運営しており、これまで上層階で受け入れていた自転車を1階で受け入れることで利便性を向上。</p> <p>●自転車等駐車場実態調査の実施 駅前周辺の自転車等駐車場の設置状況、利用状況を把握し、自転車政策に関する資料の収集を図ることを目的とした駐車場の実態調査を実施。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・駅周辺の駐輪場利用状況及び放置自転車の状況を把握するなど、駐輪環境整備の調査を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車駐輪場等を整備する場合、限られた財源の中で、効率的な環境整備を検討する必要がある。</p>
	<p>①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援</p> <p>《事業概要》 一定要件を満たす民営駐輪場の新設・増設について、その設置者に対して整備費用の一部を補助するなど、民間事業者への支援を行います。</p> <p>《活動指標》民営駐輪場の新設2箇所、300台/年以上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 	<p>●駐車場補助金制度の運用 駅周辺における放置自転車の解消及び自転車等駐車場の適正配置の推進のため、「さいたま市自転車等駐車場補助金交付要綱」に基づき、一定要件を備える民間自転車等駐車場の設置者に対して補助する制度を運用。</p> <p>○要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共のように供される ・市内の駅を中心に概ね300mの範囲内に設置 ・新設の場合、収容台数10台以上 ・増設の場合、収容台数が10台以上増加 ・当該駐車が5年以上運営されること <p>○補助内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・500万円を上限として整備費用1/3を補助 <p>○令和元年度 補助金交付実績 0件(事前相談 9件)</p> <p>(参考)これまでの実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 1件(与野駅) ・平成30年度 1件(東大宮駅) 	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・補助金制度による民間駐輪場の整備の誘導・支援を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・実態調査の結果も踏まえ、適正配置の推進や短時間利用向け駐輪場への対応等の課題解決を図っていく必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやす さ)</p>	<p>①-3 駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進</p> <p>《事業概要》 「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づき、駐輪需要を生じさせる集客施設や商業施設への駐輪場の附置を推進します。</p> <p>《活動指標》附置義務条例等に応じた駐輪場の確保 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>●附置義務条例に基づく指導 「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づく指導を実施。</p> <p>○条例に基づく届出件数 7件</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課・各区くらし応援室】 ・条例に基づく指導を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・スポーツバイクや3人乗り自転車等の駐輪需要の多様化やシェアサイクルの普及など、駐輪環境が変化している中で、本条例の運用を検証する必要がある。</p>
	<p>①-4 駐輪優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 駐輪場利用者への店舗での割引特典の付与等、買い物客などの積極的な駐輪場利用につながる優遇制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>調査・検討中</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・調査・検討中</p> <p>《課題・留意点》 ・同事業を進めるに当たっては、民間との連携が必要である。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやす さ)</p>	<p>①ー5 駐輪場の情報発信の充実</p> <p>《事業概要》 市内各駅の駐輪場の情報を様々な媒体により提供し、利用案内の充実を推進します。また、近隣の商業施設等と連携した、周辺施設案内へのリンク等の付加情報の提供など、更なる情報発信の充実を推進します。</p> <p>《活動指標》案内システムのアクセス 1万4千件/月以上 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●駐輪場の案内周知 市ホームページやチラシにより駐輪場の案内を実施。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・市ホームページやチラシにより、情報発信を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・新たな媒体により情報を発信する必要がある。</p>
	<p>①ー6 利用者サービスの充実</p> <p>《事業概要》 スポーツバイク等、多様な車両への駐輪への対応を、施設特性に応じて市営施設の改修等により実施します。</p> <p>《活動指標》全市営駐輪場での付加サービス機能の向上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>●防犯上の対応 市営大宮駅東口錦町自転車駐輪場、北大宮駅自転車駐輪場にて新たに防犯カメラを設置。</p>  <p>●駐輪場の改善 市営大和田駅南自転車駐輪場(2F)、土呂駅西口自転車駐輪場(1F)、大宮駅西口桜木町自転車駐輪場(B1F)、武蔵浦和駅南自転車駐輪場に垂直式2段ラックを導入。市営大宮駅東口大門町自転車駐輪場において、3人乗り子乗せ自転車区画を増設(再掲)。 指定管理者により、電動空気入れの設置、雨天時のタオル貸出、自転車故障時の代車貸出等を実施。</p>	<p>【所管：自転車まちづくり推進課】 ・市営自転車駐輪場において利便性向上に寄与する防犯管理システム修繕、サイクルラック修繕等を積極的に実施。 ・現行指定管理者による独自サービスを推進。</p> <p>《課題・留意点》 ・指定管理者によるサービスは今後も継続するが、ニーズに応じた有料サービスは令和2年度以降の導入に向け、調整する必要がある。</p>

事業	方策及び指標	令和元年度 取組結果	令和2年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>②放置自転車の解消</p>	<p>②-1 放置自転車対策(指導・撤去・啓発)の強化</p> <p>《事業概要》 公共の場所における放置自転車等の対策として、放置自転車等監視・撤去業務を実施します。</p> <p>《活動指標》放置自転車台数調査毎年実施 《成果指標》放置自転車撤去数1割減/年 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>●放置自転車の監視 市内各駅周辺の自転車等放置禁止区域に原則、平日の午前8時から午後2時まで、監視員を配置。</p> <p>○主な業務 ・注意喚起、駐輪場への案内及び誘導 ・放置自転車への撤去の警告札の取付け 等</p> <p>●放置自転車の撤去 午前9時以降、駅周辺を巡回し、車載放送で撤去の案内を広報。順次、警告札が付いた自転車を撤去し、保管所へ移送。</p> <p>●放置自転車追放ポスターコンクールの開催 市内の市立小学校の児童を対象に、放置自転車対策の啓発を目的として、夏休みの課題を利用し啓発ポスターのコンクールを実施。入賞作品をポケットティッシュとして、区役所等で配布。</p>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・放置自転車対策の実施。 ・複数ある自転車保管所の統合に向けた調査に着手。</p> <p>《課題・留意点》 ・放置自転車台数は長年の取組により減少傾向が続いており、現在は業務の効率化やコスト削減が事業のテーマになりつつある。 ・撤去自転車を返還するときに徴収する手数料について、現在は1,000円だが、他の自治体では5,000円以上のところもあり、金額の妥当性と手数料の改定について、今後検討する必要がある。</p>
	<p>②-2 放置自転車の活用</p> <p>《事業概要》 放置自転車として撤去された、引き取り手のない自転車について、リサイクル整備による市民向けの販売や、開発途上国へ譲与する、国際貢献事業を実施します。</p> <p>《活動指標》開発途上国への120台/年の譲与 《成果指標》市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>●再生自転車の海外譲与 撤去自転車の有効利用策として、再生自転車を開発途上国の母子保健活動の交通手段の活用を目的とした、「再生自転車海外譲与自治体協議会(略称「MCCOBA」、参画自治体:さいたま市、大田区、世田谷区)」を通じて海外譲与を実施。</p> <p>○譲与実績 110台(令和元年度)</p>  <p>妊婦さんを保健施設に搬送する役割を果たす再生自転車(ザンビア) ※MCCOBAホームページ</p>	<p>【所管:自転車まちづくり推進課】 ・再生自転車海外譲与の実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・「再生自転車海外譲与自治体協議会」へ参画する自治体を増やすなど、当事業を安定に推進する体制を構築する必要がある。</p>